



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東
コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL 03-6300-6335
四半期報告書提出予定日 2024年2月5日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年3月21日～2023年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,198	23.3	115	65.0	111	479.6	68	—
2023年3月期第3四半期	5,029	—	69	△64.5	19	△88.1	△55	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 82百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △55百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	33.85	27.03
2023年3月期第3四半期	△27.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,705	932	16.2
2023年3月期	4,945	870	17.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 927百万円 2023年3月期 864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年3月21日～2024年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	15.8	150	37.1	130	184.7	65	—	31.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2023年3月22日開催の取締役会において、連結子会社であるMEDIHEAL JAPAN株式会社の解散とその事業を当社に譲り受けることを決議しているため、手続き完了後、2024年3月期中に非連結決算に移行する予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,040,928株	2023年3月期	2,040,928株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,566株	2023年3月期	3,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	2,037,374株	2023年3月期3Q	2,036,063株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、長引くロシア・ウクライナ戦争や中東での戦争の影響による世界的な物価高騰、また、円安基調が続く中、企業業績や個人消費への影響が懸念される状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、主力事業のファッション事業と美容事業による新たな成長戦略に取り組んでおります。

ファッション事業（店舗運営事業）においては、AIを活用した再来店施策、アプリ会員獲得、プッシュ通知により、新商品・イベント・クーポン等、会員様にメリットのある情報伝達に努めております。3年ぶりに「マスク」から解放される年末、年始商戦に向け、たくさんのお客様にご来店、ご満足いただける品揃えに万全を期しております。また、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』においては、品揃えを充実させるため、什器の入替を積極的に行い、売上高の増強に注力いたしました。

美容事業においては、「エイジレス」「ジェンダーレス」をコンセプトとした新商品の展開を行い、年齢・性別を問わずお薦めできるスキンケア商品により、顧客層の拡大に注力いたしました。

また、流通戦略として、有力ショップ限定のプロモーション、新製品の先行販売、専用什器・プロモーション什器導入による売場スペースの確保など、大手パラエティストアでの販売強化、存在感UPに取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は6,198百万円（前年同四半期比23.3%増）、総額表示による売上高は6,948百万円（前年同四半期比17.0%増）となり、営業利益は115百万円（前年同四半期比65.0%増）となりました。また、引続き円安の影響は大きいものの、助成金収入65百万円の計上もあり、経常利益は111百万円（前年同四半期比479.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同四半期は55百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ファッション事業]

ファッション事業においては、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』を2店舗出店し、輸入ブランド専門店『GINZA LoveLove』11店舗、『&choa!』13店舗の全24店舗体制で運営しております。『GINZA LoveLove』では、顧客対策として、AIを使った顧客データ解析による再来店施策、アプリ会員への情報発信に努めるなど、売上高の確保に注力いたしました。結果、売上高は2,710百万円（前年同四半期比3.5%減）、総額表示による売上高は3,459百万円（前年同四半期比6.9%減）となりましたが、助成金収入の計上などにより、セグメント利益は38百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント損失）となりました。

[美容事業]

美容事業においては、主力商品の売上が好調に推移したこと、大手パラエティストアへの販促を強化したこと、公式ECサイトでのセール企画が大きく貢献したことなどにより、売上高は3,287百万円（前年同四半期比54.4%増）となりました。利益面では円安の影響も一服し、セグメント利益は329百万円（前年同四半期比17.4%増）となりました。

[賃貸部門]

賃貸部門においては、売上高は26百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益は22百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

[その他]

その他の部門では、自治体が助成する太陽光発電や蓄電設備の販売にも注力し、売上高は174百万円（前年同期比26.1%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期比193.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、総資産は5,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ760百万円増加いたしました。これは主に、新規店舗の出店や繁忙期の商材確保などにより現金及び預金が316百万円減少し、商品が618百万円増加したこと、美容事業の売上拡大などにより売掛金が409百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、負債合計は4,772百万円となり、前連結会計年度末に比べ698百万円増加いたしました。これは主に、償還により社債が40百万円、返済により長期借入金が58百万円減少しましたが、季節性資金の調達などにより短期借入金が244百万円増加したこと、また、最需要期に備えた商品在庫の調達により支払手形及び買掛金が514百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、純資産合計は932百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円の計上によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は16.2%（前連結会計年度末は17.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2024年1月25日付で『2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ』を開示しております。

今後、新たな業績の見込みが判明した場合には、速やかに業績予想の修正を行ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,204	276,326
売掛金	845,453	1,254,712
商品	2,095,630	2,714,231
預け金	136,687	160,339
その他	177,265	162,847
貸倒引当金	△17,642	△19,275
流動資産合計	3,830,597	4,549,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	129,951	132,802
土地	429,273	429,273
その他（純額）	70,572	101,569
有形固定資産合計	629,796	663,645
無形固定資産		
ソフトウェア	21,606	29,938
無形固定資産合計	21,606	29,938
投資その他の資産		
投資有価証券	95,369	90,640
差入保証金	323,485	330,118
繰延税金資産	28,504	27,929
その他	15,872	14,249
投資その他の資産合計	463,231	462,937
固定資産合計	1,114,634	1,156,521
資産合計	4,945,231	5,705,703

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	632,321	1,146,398
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	2,312,648	2,557,636
1年内返済予定の長期借入金	77,919	74,571
リース債務	4,616	4,456
未払金	303,340	297,289
未払法人税等	18,660	13,200
契約負債	12,360	7,044
店舗閉鎖損失引当金	—	24,841
その他	40,739	62,662
流動負債合計	3,442,606	4,228,101
固定負債		
社債	160,000	120,000
長期借入金	200,406	145,002
リース債務	6,931	7,735
役員退職慰労引当金	109,800	109,800
退職給付に係る負債	101,073	90,226
資産除去債務	3,288	3,288
長期預り保証金	29,980	29,980
長期未払金	20,579	38,706
固定負債合計	632,058	544,738
負債合計	4,074,664	4,772,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,990	10,000
資本剰余金	454,388	504,378
利益剰余金	337,443	386,025
自己株式	△5,026	△5,046
株主資本合計	846,795	895,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,997	30,541
退職給付に係る調整累計額	1,971	1,161
その他の包括利益累計額合計	17,968	31,703
新株予約権	5,802	5,803
純資産合計	870,566	932,863
負債純資産合計	4,945,231	5,705,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)
売上高	5,029,487	6,198,969
売上原価	3,359,913	4,134,608
売上総利益	1,669,573	2,064,360
販売費及び一般管理費	1,599,577	1,948,871
営業利益	69,996	115,488
営業外収益		
受取利息	65	210
受取配当金	2,255	2,543
助成金収入	235	65,539
その他	1,693	1,256
営業外収益合計	4,249	69,549
営業外費用		
支払利息	33,829	32,231
社債利息	46	579
社債発行費	2,477	—
新株予約権発行費	3,153	1,928
為替差損	11,771	35,245
その他	3,662	3,156
営業外費用合計	54,940	73,142
経常利益	19,305	111,896
特別利益		
投資有価証券清算益	—	4,710
特別利益	—	4,710
特別損失		
固定資産除却損	—	7,206
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	24,841
特別損失	—	32,048
税金等調整前四半期純利益	19,305	84,558
法人税、住民税及び事業税	17,528	14,153
法人税等調整額	57,711	1,449
法人税等合計	75,239	15,602
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,934	68,955
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55,934	68,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年12月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△55,934	68,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,122	14,544
退職給付に係る調整額	△2,330	△809
その他の包括利益合計	791	13,734
四半期包括利益	△55,142	82,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,142	82,690

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

資本金の額の減少

2023年6月16日開催の第61期定時株主総会において、資本金の額の減少の件に関して次のとおり決議され、2023年7月20日の効力発生により、資本金の額が減少しております。

(1) 資本金の額の減少の理由

今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えるものであります。

(2) 資本金の額の減少の内容

1) 減少する資本金の額

資本金の額59,990,212円のうち49,990,212円を減少し、その減少額全額をその他資本剰余金に振り替え、減少後の資本金の額を10,000,000円といたしました。

2) 資本金の額の減少の効力発生日

2023年7月20日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年3月21日 至2022年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション	美容	賃貸部 門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	2,808,711	2,053,544	—	4,862,256	138,431	—	5,000,687
その他の収益	—	—	28,800	28,800	—	—	28,800
外部顧客への売上高	2,808,711	2,053,544	28,800	4,891,056	138,431	—	5,029,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	76,175	—	76,175	—	△76,175	—
計	2,808,711	2,129,719	28,800	4,967,231	138,431	△76,175	5,029,487
セグメント利益又は損失(△)	△767	281,158	25,234	305,625	5,921	△292,242	19,305

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外商部門等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△292,242千円は、セグメント間取引消去△1,098千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△291,143千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のファッション事業の売上高は941,551千円減少し、セグメント利益は3,114千円増加しております。また、美容事業の売上高は1,149千円減少し、セグメント利益は165千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年3月21日 至2023年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ファッ ション	美容	賃貸部 門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収 益	2,710,294	3,287,497	—	5,997,792	174,627	—	6,172,419
その他の収益	—	—	26,550	26,550	—	—	26,550
外部顧客への売上高	2,710,294	3,287,497	26,550	6,024,342	174,627	—	6,198,969
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,710,294	3,287,497	26,550	6,024,342	174,627	—	6,198,969
セグメント利益	38,086	329,978	22,416	390,480	17,367	△295,952	111,896

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△295,952千円は、セグメント間取引消去4,189千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△300,141千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。